



書館便り

「レファレンスサービス」ってな



5月号

みなさん、図書館で行う「レファレンスサービス」を知っていますか。利用者が知りたいことについて図書館スタッフが資料・情報を探して紹介することや、調べ方を案内することをレファレンスサービスと言います。

内容によっては、図書館スタッフから質問をすることがあります。例えば、「犬の本が読みたい」という人には、「犬のどんなことが載っている本が読みたいのか」について確認をして資料を探します。小説を読みたいのか、飼育方法を知りたいのか、絵を描く参考材料を探しているのかでは紹介する資料も変わるからです。

読みたい本や知りたいことがあつたら、図書館スタッフに気軽に声をかけてくださいね。

おしらせ



今月から図書室では、給食室とコラボで本に出てくる食べ物を給食で提供、関連本を図書室で展示することになりました。今月のコラボメニューはルパン3世『カリオストロの城』でルパンが食べている「ミートボールスパゲティ」です。図書室では「ルパン」に関する本を並べています。ぜひ読みに来てくださいね。

また、5月より図書室内で将棋を貸し出します。昼休み、放課後遊べます。図書委員または司書に声をかけてください。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
	★	★	★	★	★	

★の日に図書館スタッフが来ています。

おすすめの本



マークの本は図書館にあります。

●『サボリ上手な動物たち』

佐藤克文 森阪匡通／著 岩波書店(分類:481)

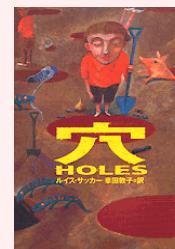
「見えない=知らない」いつ食うか食われるかの世界を生きている野生動物に対して、私たちは一方的に「いつでも一生懸命」に生きていると期待しているようです。サボるのは人間だけだと。でも、意外と野生動物も上手く手を抜いてサボっているようなのです。本当の野生動物の姿を知ってみて！



●『穴 HOLES』

ルイス・サッカーノ／著 幸田敦子／訳 講談社(分類:933)

砂漠にある更生施設に送りこまれた少年たちは、毎日ひとつずつ穴を掘るよう命じられます。穴掘りの目的は、「根性を養うため」と言われていたのですが…。



物語の前半はわからないことだらけですが、後半の展開を楽しみにして、がんばって読み進めてほしい本。英語版もあります。



●『カリオストロ伯爵夫人』

モーリス・ルブラン／文 竹西英夫／訳 (分類:953)

デビイグ男爵の娘クラリスを愛する青年ラウール(若き日のアルセーヌ=ルパン)は男爵と対立するカリオストロ伯爵夫人の危険を救ったことから莫大な宝石のありかをめぐる抗争に巻き込まれる。アニメ「カリオストロの城」に続いていく原作本。

